



# 全難聴便り

発行:事務局 〒162-0066  
東京都新宿区市谷台町 14-5 MSビル市ヶ谷台1F  
編集:全難聴事務局  
電話:03(3225)5600  
FAX:03(3354)0046  
URL:<http://www.zennancho.or.jp>  
E-Mail:[zennancho@zennancho.or.jp](mailto:zennancho@zennancho.or.jp)

## ↑ きこえの支援センターシンポジウム開催 (9月6日)

丸紅基金による「難聴者の社会参加を 総合的に支援するシステム構築」意識調査(アンケート調査)のデータを分析した結果についてシンポジウムが開催されました。



画像の要約筆記の投影画面が湾曲しているのがわかりかと思いますが、プラネタリウムの壁面を使用しています。

会場は、ユートリヤ(すみだ生涯学習センター)というプラネタリウム・ドームの中です。

この4月に、

旧型のプラネタリウムを改装し、講演会場としても使えるように設備を刷新したばかりで、階段状の客席は、資料のパワーポイント投影がどんなに大きくても問題なく投影することができました。

雨模様の中、約100名の方が参加されました。

磁気ループが設置されています  
Tモードに切り替えてください。

佐野事務局長の司会ではじまったシンポジウムは、新谷理事長の挨拶に続き、瀬谷委員長の趣旨説明から議題に進みました。

この他の委員のメンバーは、氏田直子弘前医療福祉大学講師、大沼直紀筑波技術大学元学長、杉内智子昭和大学耳鼻咽喉科兼任講師、濱田豊彦東京学芸大学教授です。

当日は、ゲストとして道躰正成厚生労働省自立支援振興室室長と、長瀬 修立命館大学生存学研究センター客員教授が加わり、アンケート結果報告に続く、全体討論と3時間にわたるシンポジウムが行なわれました。

4月から行われた「きこえに関するアンケート」は、9ページ約50項目にわたるもので、設問の中には、複数回答の選択肢や、自由記述の部分もあり、委員がテストしても回答終了

まで30分以上かかる、かなりエネルギーが必要なものでした。

それにもかかわらず、全国各地から寄せられたアンケート回答は、1105通にのぼり、膨大な自由記述部分の切実な内容など、聞こえに関するセンターへの期待が伝わる結果になりました。



杉内智子先生から、データの要素について報告があり、支援、相談について地域データが紹介され、年齢別、男女別および難聴の程度別それぞれ分析結果が報告されました。加えてコミュニケーション手段、支援機器についての傾向についても述べられました。

氏田直子先生は、難聴の問題に当事者は、家族はどう対処しているかの報告でした。聞き取りに関する不便は、日常生活で様々にありますが、それ以上に困難に対する理解と配慮についての考察がなされました。その後、いよいよきこえの問題について相談経験、相談先、その必要性についての結果の報告で「きこえのセンター構想」の輪郭が見えてきました。

濱田豊彦先生からは、相談内容、希望する支援という具体的要望についての結果が報告されました。ここにおいて、相談支援の窓口が整っていない現状への問題提起がなされ、様々な要望に対応する窓口の一本化の必要性について言及し、今回の「きこえのセンター構想」の方向性を示唆する内容の報告になりました。

そして、瀬谷委員長からセンターの位置づけと課題について海外のモデルを紹介しつつ、日本の実情にあわせた、具体的な組織形態やスタッフ陣容を交えての提言がなされました。

休憩後の討論では、会場から寄せられた質問項目を、大沼直紀先生が整理して登壇者の意見集約をするという大技をこなしつつ、道体室長、長瀬教授、新谷理事長、佐野事務局長の意見を取り混ぜた議論が進みました。

専門家の委員の方々は、極端に専門的にならないように発言されていたので言い足りない部分もあったと思いますが、圧倒的な分析力と考察力は、「有識者」というものの力を実感させられました。



また、アンケート結果をいくつもの側面から立体的に分析することの重要性を認識させられる貴重なシンポジウムとなりました。

きこえの健康情報「カルテ」という用語利用については、総合的支援を行ういわゆる「ワンストップ」という言葉も含めて、今後も議論が続くと思われます。

新谷理事長は冒頭の挨拶で「総合的支援見直し議論」「差別解消法対応要領、対応指針ガイドラインづくり」「障害者権利条約政府報告に対するレポート」と大きな動きが進んでいる中で、関連する専門家とともにこのシンポジウムの重要性について述べました。

今回のシンポジウム及び、分析結果の内容は後日「報告書」にまとめられます。

## 全難聴提出パブリック・コメント

政府が現在募集している、「障害を理由とする差別の解消の推進に関するパブリック・コメント」は、事務局が把握している範囲で、最も早い期日の9月16日の防衛省から現時点で10月21日の総務省まで46あります。

新谷理事長は、そのすべてに全難聴としてコメントを提出しています。

以下は、その内のひとつの保存データです。

10月以降も、国税庁、医療従事者向け対応指針、対応要領への意見募集は行なわれます。

国の施策への意見を述べる貴重な機会です。皆様もぜひ積極的なコメントを提出してください。

### 提出内容

受付番号	201509160000352792
提出日時	2015年09月16日11時24分
案件番号	495150125
案件名	障害者差別解消法に基づく福祉事業者向けの対応指針(案)に関する御意見の募集について
所管府省・部局名等	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課 TEL:03-5253-1111(内線3017)
意見・情報受付開始日	2015年08月21日
意見・情報受付締切日	2015年09月19日
郵便番号	162-0066
住所	東京都新宿区市谷台町14-5
氏名	全日本難聴者・中途失聴者団体連合会理事長 新谷 友良
連絡先電話番号	03-3225-5600
連絡先メールアドレス	zennancho@zennancho.or.jp
提出意見	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 「福祉の専門知識及び技術をもって福祉サービスを提供する事業者は、日頃から、障害に関する理解や障害者の人権・権利擁護に関する認識を深めるとともに、より高い意識と行動規範をもって障害を理由とする差別を解消するための取組を進めていくことが期待されます。」の記述を評価する。</li><li>2. 社会福祉法規定事業の例示に、手話通訳・要約筆記事業、聴覚障害者情報提供施設を経営する事業も加えるべきである。</li><li>3. 「合理的配慮は、事業者の事業の目的・内容・機能に照らし、必要とされる範囲で本来の業務に付随するものに限られること」とされているが、本来の業務の範囲を厳格に解釈して、合理的配慮を提供すべき場面を限定すべきではない。</li><li>4. 「電光表示板、磁気誘導ループなどの補聴装置の設置、音声ガイドの設置」などは合理的配慮に止まらず、環境整備として求められることが多いので、環境整備のところにも記述を加えるべきである。</li><li>5. 障害の主な特性に「難聴者は補聴器や人工内耳で聴覚を補完する」とあるが、「聴覚障害者のコミュニケーション方法には手話、筆談、口話など様々な方法があるが、どれか一つで十分ということではなく、多くの聴覚障害者は補聴器や人工内耳で聴覚を補完するほか、話す相手や場面によって複数の手段を組み合わせるなど使い分けしている」という趣旨の説明に変えるべきである</li></ol>

## 台風 18 号による茨城県の被災について（茨城県協会齋藤理事長より報告）

平成 27 年 9 月 10 日の台風 18 号に伴う豪雨により、鬼怒川が決壊し、周辺地域の河川も氾濫し、常総市全域が浸水し、未曾有の被害をもたらしました。この災害で茨城県協会では、同市に居住している会員の内、2 名の被災を確認しています。

1 名の会員の方は木造 2 階建て住宅部分 1 階床上 1.2 メートルが倉庫 2 棟と併せ浸水。翌日から 8 日間避難所生活を余儀なくされました。

もう一人の会員の方は、浸水はしなかったが救援のヘリコプターの飛来により車庫の屋根の破損とのことでした。

全難聴では、支援方法について検討を進めています。

## 📌 理事及び専門部長の動き（9/1～9/30）

- 9月1日 第1回119番通報の多様化に関する検討会（小川）
- 9月2日 障害者の高齢化に関する課題検討委員会（大石「川場代理」）
- 9月6日 きこえの支援センターシンポジウム（新谷、佐野、瀬谷）
- 9月7日 オリ・パラ「コミ・サービス部会」第2回宿泊施設作業部会（川井）
- 9月11日～13日 要約筆記者指導者養成研修西日本第2クール（宇田川）
- 9月14日 JDF企画委員会（佐野）
- 9月14日 オリ・パラ「交通・アクセス部会」第2回航空輸送作業部会（川井）
- 9月15日 第3回字幕ガイドライン標準化委員会（新谷）
- 9月23日 要約筆記WG（新谷、佐野、宇田川）
- 9月25日 JDF幹事会（新谷）
- 9月27日 埼玉県協会30周年記念大会（新谷）
- 9月29日 オリ・パラ「コミ・サービス部会」第2回情報発信・標識作業部会（新谷）
- 9月29日 シーズ・ニーズマッチング強化検討会議（川井）

## 📌 事務局報告

- 9月6日 きこえの支援センターシンポジウム
- 9月30日 機関誌発送

《予定》

- 10月2日 全国統一要約筆記者認定試験説明会（西会場）
- 10月3日 兵庫県30周年記念第26回中途失聴・難聴者兵庫の集い
- 10月6日 四団体連絡会
- 10月9日 全国統一要約筆記者認定試験説明会（東会場）
- 10月10日～12日 要約筆記者指導者養成研修（東日本第3クール）
- 10月13日 パラレルレポート学習＋意見交換会
- 10月13日 中央本部拡大会議
- 10月14日 JDF代表者会議
- 10月17日 理事会
- 10月23日～25日 要約筆記者指導者養成研修（西会場第3クール）
- 10月24日～25日 九州ブロック大会（佐賀）
- 10月25日 JDF幹事会
- 10月25日～26日 新光会 全国大会（広島）
- 10月31日 全難聴だより No. 89 発行

### 全難聴福祉大会 in うどん県情報

うどん県大会のFACEBOOKのサイトができました。

<https://www.facebook.com/27nancho.taikai/>

空港からのアクセスの情報、「瀬戸大橋線、マリンライナー」の映像、グルメ情報など随時更新されています。

大会が近づくにつれて近隣紹介が増えると思います。

問い合わせにも回答しますので、ぜひコメントを入れて、「いいね！」をクリックしてください。

（実行委員長 湯浅はるみ）



香川のマスコットキャラ  
「親切な青鬼くん」。